

雇用の拡大について



斉藤 義則
議員

人口減少の続く本市において、何らかの形で人口減少に歯止めをかける必要があります。私は、人口減少に歯止めを掛けるには、雇用が無くてはならないと考えます。

春日部市総合振興計画後期基本計画のゆたかさの施策において、「地域の特性を生かした新産業を創出し、市民が安心して働き続けられるようにする」とあります。

市として新産業を創出するために、どのような事をしていくのか。また、市民が安心して働き続けられるようにするため、どのような事をしていくのか伺います。

○環境経済部長

本市では、国から「創業支援事業計画」の認定を受け、創業希望者や創業して間もない方を対象に支援事業を展開しており、問い合わせも増加しています。今後は、中小企業者や創業希望者、学生等を

対象にビジネスプランコンテストの開催など、経営支援や人材育成支援、競争力強化支援などを通して、中小企業振興策を推進していきます。

○都市整備部長

現在、従業員雇用につながる業種の企業を対象に誘致活動を行っており、今後も、本市の長所を積極的にアピールしながら、地元従業員雇用促進につながる企業誘致活動で、安心して働き続けられるまちづくりにつなげていきます。

このほか

○マイホーム借り上げ制度について



近郊の大型商業施設と地域の和庄

春日部市の強み弱みについて



吉田 剛
議員

企業経営において、現状を分析し、問題点や課題を抽出することで解決策を導き出す手法の一つとして「SWOT分析」という手法があります。このSWOT分析を実施することで、本市の強み、弱み、

本市を取り巻く機会、脅威を導き出し、そこから見えてくる問題点や、その課題解決を図っていきたいと思います。

まずは、本市の内部要因としての「強み」「弱み」について、どのように分析しているのか伺います。

また、今回の分析結果を受けて、今後どのような方向性を持って、各種施策の展開を図っていくのか伺います。

○総合政策部長

本市の「強み」として、週刊誌で教育・子育てに適したまち全国8位になるなど「子育て環境が整っていること」。庄和インター周辺に「優良企業の誘致を進めていること」。

「都市環境と自然環境とのバランスが良いこと」などが挙げられます。「弱み」では、「合計特殊出生率が周辺市より低いこと」や「中心市街地が鉄道により分断されていること」などが考えられます。

今後の方向性として、「子育て世代に選ばれるまちづくり」「優良企業の誘致と産業支援」「魅力的なまちづくりと積極的なPR」「市民主体の安心安全なまちづくり」といった方向性を持って、施策の展開を図っていきます。

このほか
○債権の回収について

聴覚障がい者の人権と社会参加を保障するために手話言語条例の制定を



並木 敏恵
議員

聴覚障がい者は、耳からの情報が得られません。テレビ、ラジオ、電話や隣にいる人の声も聞こえません。「困っている」「助けて欲しい」と声で伝えることもできません。

急病でも、自力で救急車を呼ぶこともできず、手話で対応できる病院も市内にありません。

ん。耳が聞こえれば、ごく当たり前に行えるコミュニケーションもとれず、あらゆる場面で、権利や社会参加が制限されています。

12月1日現在、手話言語法制定を求める請願などは、全自治体の99・4パーセントで採択され、手話言語条例は3県17自治体が制定しています。

本市も、手話言語条例を制定し、「手話でコミュニケーションをとりたい」という当然の権利を尊重し、聴覚障がい者の社会参加を保障すべきです。そこで、条例制定について、市の考えを伺います。

○福祉部長

聴覚に障がいのある方にとって、手話は情報伝達手段や意思疎通のツールとして、大変重要なものと認識しており、手話を言語として認め、理解していくことは大変意義のあることと考えています。現在、国や県で「手話言語法」「手話言語条例」制定の動きがあることは認識しています。

○市長

条例の制定については、国や県の動きを注視していきたくないと考えています。

このほか

○武里団地大踏切の拡幅を

子どもの貧困 対策について



荒木 洋美
議員

子どもたちの健全な成長を願うのは、社会全体の希望であり、責務であると思います。

しかし、日本の子どもの今を考えると、見逃せない数字があります。16・3パーセント。子どもの貧困率を表す数字です。6人に1人が貧困であることを意味しています。

貧困には、「負の連鎖」が付きまっています。経済的な理由で進学を断念せざるを得ない子どもは、成人しても安定した収入を得られる職に就けず、親と同じように貧困にあえぐケースが多いと言われています。生まれ育った環境で将来が左右される事態は、あってはならないことです。

そこで、生活困窮世帯や生活保護世帯の中学生と高校生を対象に行っている学習支援教室の参加者を増やすために、早めの家庭訪問が必要と考えますがいかがでしょうか。

○福祉部長

学習支援教室への参加を促すため、年度当初に重点をおいて、ご家庭を訪問した際には必ず声掛けをしています。

学習支援教室へ参加しない生徒の主な理由として、「部活動などが忙しくて時間がとれない」「集団の中に入るのが苦手」などさまざまな理由があるものと考えています。

このような生徒に対しては、指導員が電話連絡や家庭訪問などを行い、学校生活や進路の近況を尋ねたり、助言をするなどしながら、学習支援教室への参加を呼び掛けています。

いじめに苦しむ子をなくし 安心して学べる学校に



松本 浩一
議員

文科省は、2015年11月4日、2014年度問題行動調査のいじめ件数を修正し、心身や財産に被害を与えたり、不登校の原因となった重大事態の件数が450件あったと発表しました。再調査の結果、本市ではどうだったのでしょうか。

どの子にも「ゆとり」を持つて接することができ、温かく語り合いながら丁寧に育てることができると学校に解決するには、教員の超多忙化を解消することが必要です。

いじめに苦しむ子をなくし、安心して学ぶことができる学校にするために、具体的にどうすることが必要か、教育長の見解を伺います。

○学務指導担当部長

再調査の結果、昨年度のいじめの認知件数は、小学校11校36件、中学校11校28件でした。また、法が定める重大事態はありませんでした。

○教育長

どんなに忙しくても、担任と子どもの日常の触れ合いや心の通いが大切です。どんな時でも、子どもを見捨てないという教職員集団の意識づくりが必要で、さらに、学級づくりを通して子ども同士の人間関係や意識づくりが最も重要です。普段からいじめ問題を話し合い、そこで生まれた子どもの思いを大切に育て、いじめのない学校づくりを進めたいと考えています。

このほか

○西武春日部店の閉店と今後の商業施設存続対策について

オラがまちの公民館等の 在り方と利用について



水沼日出夫
議員

公共施設の中で、最も身近で馴染んできた公民館の使い勝手を良くするため、以下の改善策について伺います。

① 定例休館日が祝祭日と重なる場合の振替休館日を設けず、曜日による不公平感を是正できないか。

② 現在の開館時間情報の17時15分に閉館という記載を事実上の閉館時間に直せないか。

③ がん検診等の公民館利用は、担当部署の責任で、できるだけ定例休館日に行えないか。

④ 公民館等公共施設において、これからの高齢化社会では重要な拠点的作用が求められています。本市の認識とこれからの方向性を伺います。

○社会教育部長

① 法律の改正で月曜日が祝日となる日が増え、火曜日の休館日が増えたことは、課題の一つと考えています。

② 公民館ホームページの開館時間については分かりづらい

部分もあることから、分かりやすい表記へ改めていきます。

③ 条例でも、休館日に検診等の行政利用を行うことは可能と考えられますが、実施主体部署と十分に協議、調整を行っていきたくと考えています。

④ 公民館全体の課題については、館長会議にプロジェクトを設け、さまざまな案件を検討しています。今後も、他の公共施設の状況も踏まえ、市民サービスの向上に向けて、改善に努めていきます。

このほか

○南中曽根第74号踏切道の安全度向上について



豊春地区公民館

常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



総務委員会 (新潟市)
◎小久保博史 ○矢島章好 卯月 武彦
鬼丸 裕史 ○滝澤 英明 鈴木 一利
会田 幸一 中川 英明



厚生福祉委員会 (北上市)
◎金子進子 ○海老原光男 水沼日出夫
大野とし子 ○並木 敏恵 吉沢 耕作
山崎 進 武 幹也



建設委員会 (糸魚川市)
◎栗原上村 信司 蛭間 靖造 齊藤 義則
井木 圭一 松本 小島 文男 岩谷 一弘



教育環境委員会 (倉敷市)
◎佐藤 一 荒木 洋美 石川 友和
坂巻 勝則 ○今尾 安美 吉田 剛
河井 美久 栄 寛

閉会中の委員会活動

- ▽総務委員会
10月19日～21日
・行政視察：射水市(新庁舎建設事業について)、長岡市(市庁舎の建設について)、新潟市(シティプロモーション認定事業について)
- ▽厚生福祉委員会
10月6日～8日
・行政視察：大仙市(自殺予防対策事業について)、横手市(「健康の駅」推進事業について)、北上市(こども療育センターについて)
- ▽建設委員会
10月20日～22日
・行政視察：糸魚川市(糸魚川駅および駅周辺整備について)、金沢市(中心市街地における都市機能向上の取り組みについて)、小松市(PFI事業による市営住宅建て替えおよび定住促進支援制度について)
- ▽教育環境委員会
10月5日～7日
・行政視察：倉敷市(倉敷フィルムコミッション事業について)、赤穂市(スポーツ先進都市の実現を目指す、スポーツ都市宣言について)、
- ▽議会運営委員会
11月11日～13日
・行政視察：可児市(議会改革と議会の活性化の取り組み内容について)、米原市(市民との意見交換会と代表質問について)、越前市(市民と議会との語る会について、決算特別委員会の設置と分科会の役割について)
- ▽議会改革検討特別委員会
11月25日
・平成27年12月定例会の運営について
- ▽議会改革検討特別委員会
1月8日
・議案質疑と一般質問のあり方(代表質問制度等)について
・広報誌作成時の写真掲載面の考え方について
- ▽広報広聴委員会
12月25日
・議会だより第42号の発行について
・議会報告会の検証について
・視察結果報告書について
- 1月8日
・議会だより第42号の発行について
・議会報告会の検証について
・視察結果報告書について

傍聴して一言

一生懸命意見を発言されていて、感心しました。ただ、女性議員が少ないようでした。

女性・80歳

今回は水害や雨水対策の質問が多く、市内の各地域でそれぞれ被害が多かったのだと改めて実感しました。

女性・47歳

傍聴は、議員の方々がしっかり仕事をしているか否かを知るのに、とてもよい機会だと思います。このような機会があると、議員も気が抜けなくなると思います。

女性・51歳

安心安全メールに地図情報があると分かりやすく、とてもよくなると思います。

女性・40歳

安心安全メールの時間差が気になっていました。前向きに検討していくとの事なので、ぜひよろしくお願います。また、市の歌があるとは知りませんでした。防災行政無

今定例会傍聴状況		月日	傍聴者数	主な日程																	
合計	18	16	15	11	9	8	4	12/2	11/30	2	2	上程・説明	質 疑	委員 会	一般 質問	一般 質問	一般 質問	一般 質問	委員 会	質 疑	討論・採決

線の帰宅チャイムやゴミ収集車などでも使えるのではないのでしょうか。
女性・50歳

「手話言語条例」が取り上げられ、大変喜んでいますが。どのように話し合われているかが分かり、よかったです。傍聴の際、市で手話通訳者の派遣があり、このことも当然ながらよかったです。
女性・60歳

※割愛させていただいた部分もあります。

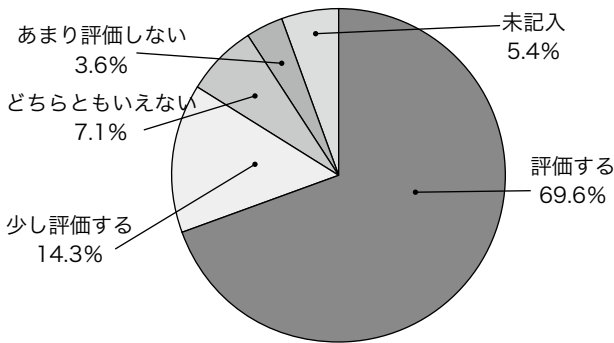
議会報告会を開催しました

市議会では、開かれた議会を目指し、市民の皆さまに議会を身近に感じていただくため、議会報告会を開催しています。

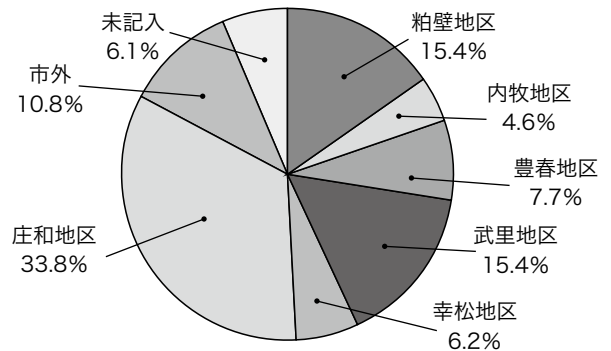
今回は10月24日(土)にふれあいキューブ4階市民活動センター(ぼぼら春日部)にて教育環境委員会と厚生福祉委員会が、10月25日(日)に庄和総合支所1階市民ホールにて建設委員会と総務委員会が、9月定例会に提出された議案から決算を中心に報告を行いました。お忙しい中、ご来場いただきました皆さまには、貴重なご意見等をいただきまして、ありがとうございます。なお、市議会ホームページでは、当日配布しました資料やアンケートの集計結果、質疑に対する回答などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

議会報告会アンケート集計結果 (一部抜粋)

議会報告会を開催したことの評価



出席者の地域



教育環境委員会・厚生福祉委員会 (ぼぼら春日部)



建設委員会・総務委員会 (庄和総合支所)

編集後記

新春を迎え、広報広聴委員一同、心よりお喜び申し上げます。

市議会では、本市の大きな課題である人口減少や、新庁舎の建設に向けて調査研究等を行うため、「地域活性化対策検討特別委員会」と「新庁舎建設検討特別委員会」を設置しました。

これら2つの特別委員会を設置し、住民福祉の増進に向けて一層の努力を重ねてまいります。

広報広聴委員会

- 委員長 荒木 洋美
- 副委員長 大野とし子
- 委員 石川 友和
- 委員 水沼日出夫
- 委員 斉藤 義則
- 委員 古沢 耕作
- 委員 矢島 章好
- 委員 蛭間 靖造
- オブザーバー
- 議長 中川 朗
- 副議長 鬼丸 裕史

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116